

ふれあい

(題字 室原亥十二)

室原亥十二会長 / 「年男の心」
 ドクターズファイル「堀 雅晴先生」
 第31年度 菊南病院 入社式・新人研修
 学会等参加報告
 第210回 きくなん生き生き健康教室開催
 Dr.古庄のサイクリング紀行
 Dr.赤星のスポーツと私
 ふれあいア・レ・コレ
 うりぼう / グループホームきくなんだより ...and more



平成三十一年 → 令和元年
四月二日

菊南病院
入職記念

菊南病院新入職員による、入職記念作品

室原内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261



医療法人室原会 菊南病院 診療部

堀 雅 晴

得しています。細胞や動物相手の基礎研究が主でしたが、論文作成には臨床的な知識も必要ですので、大学院時代は生活習慣病に関する知識を深く追求することができました。

大学院卒業後は一般内科医として勤務後、当時の上司のお誘いにより熊本大学薬学部と九州保健福祉大学薬学部での教員として勤務する機会を得ました。薬学部では学生教育と研究が主になりますが、薬物の相互作用、ポリファーマシー、遺伝子多型に関すること等の研究に携わりました。その後、しくまもと病院臨床薬理センターに勤務し治験業務に従事しました。「ふれあい」を読まれている皆様の中には治験という単語なじみが薄い方もおられるかと思いますが、新薬開発には必ず治験を行わなければなりません。また、現在ではジェネリック薬は皆様も身近な存在になっているかと思いますが、このジェネリック薬を発売するにも生物学的同等性試験という治験が基本的には必要になります。薬学部勤務と治験業務に携わりましたので、お薬に関する知識も深めて参りました。

このような経験を経ていますので、一つのことを長く深く追求するというよりは様々なことを幅広く学んできたと思っています。

さて、皆様の中にはお薬を万能なものとお考えの方もいらっしゃるかと思います。くすりというの逆さから読みますと、リスクになります。私は患者さんにお薬を出すときは必ずこのくすり、このリスクということを念頭に置いて処方しています。くすりを使うということとはリスクも背負うということです。本当にこのくすりは患者さんに利益があるのか？お薬を使うことによつて害を及ぼすことがないのか？常にこの視点から処方することが必要不可欠だと思っています。また、私はお薬に対してはマイナス思考です。マイナス思考といつてもネガティブなことではなく、引き算の考えです。皆様の中には何か症状があった場合にはクリニックや病院を受診され、お薬を処方してもらおうことが多いかと思

ます。私は患者さんが症状を訴えられた場合は使用しているお薬やサプリメントを確認し、その中に訴えられた症状が副作用と関連がないかを確認します。実際にお薬やサプリメントを中止することにより症状が改善することが多々あります。かゆみ止めのお薬を止めることでかゆみを軽減できた笑うに笑えない例も経験しました。現在、医療機関は専門分野毎に細分化されているために複数の科を受診することによって生じるお薬を追加する「プラス思考」(ポリファーマシー)を、お薬を減らす「マイナス思考」に患者さん自身も考えることが大事な点だと考えています。もし皆様の中で何か気になる点がありましたら、医師や薬剤師に相談することを勧めます。もちろん私の所に相談に来てくだされば嬉しい限りです。

勿論、ある症状が重大な病気のシグナルかもしれない。お薬だけにこだわるのではなく、必要に応じて色々な検査が必要になります。症状がなくても重大な病気が隠れているかもしれない。菊南病院では色々な検査ができますし、健診や人間ドックも充実しています。早期発見早期治療も非常に大切なことです。私も健診や人間ドックの業務に携わりますので、医師としての経験値を伸ばすことができたいと思っています。

さて真面目な話ですけど印象に残りませんので、少くだけプライベートのことも。私の特技は整理整頓です。興味のあるものは、車、航空機、鉄道などの乗り物系です。新千歳空港や羽田空港内にあるホテルに宿泊してボーッと飛行機を鑑賞できる時が安らぎを感じる時です(チヨちゃんに叱られますね)。現在、運動不足解消も兼ねて熊本電鉄を利用し堀川駅からは徒歩で通勤しています。熊本電鉄のくまモン電車にしょっちゅう乗っています。ため息子からは羨ましがられています。又、「新幹線変形ロボシンカリオン」という新幹線がロボットになって戦うアニメをよく観ています。このアニメの主人公の速杉ハヤトが連呼する「俺は『時間と言ったことは守る男』だからね！」が好きな言葉で、かくありたいものです。元々は呼吸器内科医を目指していたのですが、これまでの経験、又これからの経験を活かして菊南病院では総合診療医として皆様へ医療を提供できれば幸いです。患者さんから学ぶことは無限大です。菊南病院で経験することが、次の患者さんへ、また次の患者さんへ活かせるように日々精進していきたいと思っています。末永く宜しくお願いいたします。

平成31年度 菊南病院 入社式・新人研修

桜の花が満開の4月1日に菊南病院の入社式を執り行いました。
今年度の新入職員は20名。ここ数年では最多の採用となりました。
新人研修では中途採用の職員も合わせて25名が受講し、新たな知識の習得や職員間でコミュニケーションを取り、横の繋がりを広げることができました。
これから菊南病院の職員として活躍し花を咲かせてくれることが楽しみです。



平成三十一年度 入社式



学会等参加報告

医療法人室原会の先生方の、平成30年度学会参加状況を報告致します。

■室原良治 院長

第115回 日本内科学会総会・講演会(平成20年4月14日・15日)

■加古博史 副院長

- ・第26回日本外科学会生涯教育セミナー/九州地区 (平成30年5月12日)
- ・第26回日本乳癌学会学術総会(平成30年5月16日~18日)
- ・第44回日本消化器内視鏡学会教育セミナー(平成30年9月8日・9日)
- ・JDDW2018 日本消化器関連学会集会(平成30年11月2日~5日)

■赤星隆一郎 副院長

- ・第125回日本循環器学会九州地方会(平成30年12月1日)
- ・第83回日本循環器学会学術集会(平成30年3月29日~31日)

■前田芳郎 先生

第91回日本整形外科学会学術総会(平成30年5月25日・26日)

■采田憲昭 先生

第32回日本消化器内視鏡学会九州セミナー(平成31年1月27日)

先生方に限らず、平成31年度(令和元年度)の参加予定も着々と決まっており、新しい時代も益々自己研鑽に励んでまいりたいと存じます。



菊南病院行事食献立

2019花見御膳 お品書き

- ・竹の子ピース御飯
- ・ゴマ揚げフライドチキン
- ・炊き合わせ
(海老・里芋・油揚げ・コンニャク・オクラ)
- ・だし巻き卵
- ・蒲鉾
- ・菜の花のお浸し
- ・花ちらし汁
- ・苺



室原内科・小児科勤務

藤井 一彦 先生

長い間大変御世話になりました。スタッフの皆様にも暖かく迎えていただき、楽しく働くことができました。今も水曜日午後は行きそふになります。

改めて考えてみると室原内科小児科には大学院卒業後から、実に23年間お世話になったと思います。この間に結婚し、子供が生まれ、長男は今年成人式を迎えました。ずっと大病院に勤務していた私にとって、プライマリケアを学ぶ非常に大事な場であり、大学では診ない超高齢者や一人の患者様をずっと診させていただいたのも大きな財産となりました。

4月からは大病院を辞し熊本市市民病院に勤めています。外来は完全予約制はなく、呼吸器専門外来とプライマリケアが混在した外来に多少戸惑いながら徐々に慣れてきています。

10月の新病院開院までは入院は難しいです



藤井先生を囲んで／写真右から四番目

が、困った症例がありましたらご紹介ください。亥十二先生とスタッフの皆様のご健康と室原会の益々のご発展を祈念いたします。本当に有難うございました。

新任の挨拶



室原内科・小児科
宮崎 蒼 先生

4月より藤井先生にかわりまして、室原内科・小児科で水曜の外来を診させていただきましたことになりました。熊本大病院呼吸器内科の宮崎蒼と申します。

生まれも育ちも熊本市、高校は済々黌高校、大学は熊本大学と熊本県から出たことがほとんどない生粋の熊本人です。

医師になって3年目で、普段は熊本大病院で診療を行いながら研鑽を積んでいます。昨年度まで八代にある熊本労災病院に勤務していました。毎年秋に行われる競技花火大会はレベルが高くオススメですので、ぜひ見に行かれてください。

中学校から大学までバドミントン部に所属していました。医師になつてからも職場のバドミントンクラブに参加したり、一般の大会に出場したりしています。

以上、簡単ではありますが自己紹介をさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

第210回 きくなん生き生き健康教室(野外活動)

開催いたしました。

平成31年
3月27日
(水)



平成31年3月27日(水)第210回きくなん生き生き健康教室(野外活動)を開催いたしました。テーマは「みんなで花見に出かけよう!!」行先はいだてんの地、玉名方面。まずは、いだてん大河ドラマ館に行き、金栗四三の功績を見学しました。お昼は「つかさの湯」にて皆勤賞の表彰とお食事・温泉をいただきました。車窓からの桜はまだまだ三分咲きでしたが、車内ではにぎやかなお話に花が咲いていました。

ふれあいア・レ・コ・レ

年男の心

ふれあい95号「こころ」シリーズ続き

室原会会長 室原 亥十二

令和



今年2019年（平成31年）が大正12年生まれの私にとっては、8回目の年男です。96才になります。—だから何だ—と言われてもしかたない。

熊医学会と森都医報の平成31年新年号の「年男」の寄稿を求められました。森都医報には23名の年男・年女先生が寄稿されています。先生方には無断で引用させていただきます失礼かと思いましたが、ヒ

トのこころは万人、顔形が違う様に人様々で下記のように推測致しました。女心は分かりません。

	生年月日	人数	年齢
8回目	1923年（大正12年）	1名	96才
7回目	1935年（昭和10年）	4名	84才
6回目	1947年（昭和22年）	8名	72才
5回目	1959年（昭和34年）	6名	60才
4回目	1971年（昭和46年）	3名	48才
3回目	1983年（昭和58年）	1名	36才
			計23名

7回—84才の先生方には現在でも随分とお世話になっていきます。勤務医から自立開業へ。新規の医療を目指して進まれた先見の明と勇氣には敬意を表します。

実績を踏まえて後進への言葉も味わい深い。

6回—72才の先生方は人生百寿の時代で今風に言えば、後期高齢者の年齢にはまだ少し間もあり、余裕もありません。漠然とした不安な気持ちとない交際の年齢だと思います。この世代の先生とは年齢のひらき関係あまり交流がありません。

5回—60才の先生とは御本人より所謂—先生と同じ世代に属し、医療面でも社会人としても親しくして頂いた思い出は多いです。そのお子さんになるのであまり接触する機会がない。この世代では毎日の治療が楽しく生きがいを感じ、又、新しい医療・介護の勉強を目指し、生活も安定して又、後継ぎも育っているでしょう。御本人もまだまだやりたい気持ちは充分ある。60才。還暦です。

4回—48才 さらに一回り若いです。体力・気力・脳力とも充実した世代です。年男盛りです。口幅ったいことですが頑張るって欲しいです。

3回—36才 自立への希望と不安の世代だと思えます。これがバイタリティーの源泉でしょう。

最後が8回—96才の私です。凡庸な能力でいたずらに年齢を重ね平均寿命を超えてしまった。今更何をいわんやです。年男も次第と回を重ねると心身共に弱っていくのはなんとも寂しい限りです。誕生祝、還暦祝はあっても、干支のお祝いにはあまり聞かないです。私には余命幾ばくもない。今回が私にとっては確実に最後の年男です。思考能力も体力もヘイフリックの限界に従って共に劣化してきました。こちらで終わりにします。

参考：森都医報 2019年1月

熊医学会 2019年1月

Other minds (翻訳本あり)

ピーター・ゴドフリリスミス(2018)

Mindが複数になっている

RKK女子駅伝

第48回RKK女子駅伝競走大会が、平成31年2月11日（月）に、えがお健康スタジアム（熊本県民総合運動公園）で開催されました。5名1チームが総距離11・9kmのコースでタスキを繋ぐこの大会に、菊南病院からは2チームが参戦。約300チームのうち、81位と184位という好成績を納めることができました。部署の枠を超え、スポーツを通して「繋がり」も強化された一日でした。



ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

37. 蘇峰ゆかりのカタルパの花

カタルパは北アメリカ原産の木で、和名は「ハナキササゲ」と言います。5月～6月に白色の、ふちが縮れた花が咲き、夏から秋にかけて「いんげん豆」のような細長い実がなります。日本では全国で10カ所くらいしか見ることのできない大変珍しい木ですが、その半数以上は熊本県内にあります。熊本出身で、明治から昭和の戦後期にかけて思想家、歴史家、評論家として活躍した徳富蘇峰のことは皆さん良くご存じかと思いますが、その蘇峰の生涯の師であり、同志社大学の創立者である新島襄が留学後、アメリカ土産として蘇峰に贈ったカタルパの種子が成長し、さらに蘇峰が情熱を注いだ大江義塾と、それに関係する箇所などに種や苗が贈られ、それが大きくなったものなのです。

中でも一番多くのカタルパが植えられているのが大江義塾の跡地である「徳富記念館」で、大小合わせて10本近くのカタルパが緑の葉を茂らせています。また、植木町の菱形小学校の運動場にあるものは、同校の体育館より遥かに背の高い巨大なもので、「日本一大きなカタルパ」なんだそうです。その他にも合志市合生の黒松地区に残された「合志義塾跡」や、熊本市の白川小学校、大江小学校、

熊本大学薬学部グラウンド、熊本市動植物園にも植えられていて、5月になると清楚な花を咲かせています。

新島襄と徳富蘇峰の子弟の絆の深さと、ふたりの教育に対する情熱に想いを馳せながら自転車のペダルを踏んで合志市から熊本市にかけて、カタルパの花を観て廻りました。



(葉が大きいので花は控えめに見えます)

DO
SPORTS

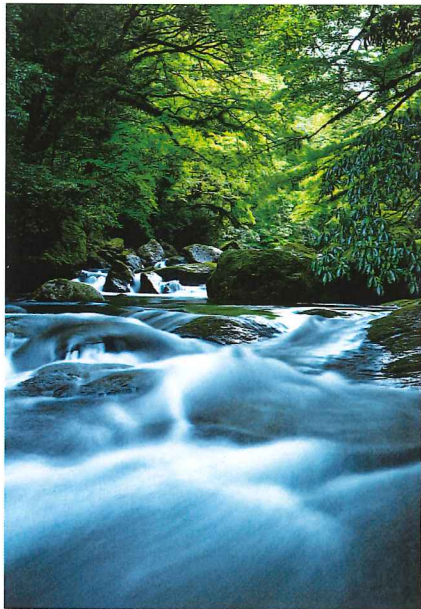
スポーツと私 ヤマメ釣り3:遭難



副院長 循環器科
赤星 隆一郎

前回の骨折に続き今回は同じヤマメ釣りでの遭難の話です。

平成23年(2011年)ゴールデンウィークの初日、体調を崩していた次男を誘って昼から菊池水源の近くの支流(楮畑川)に出かけました。度々行ったことのある近場の小さな川であり次男の気分転換が目的ということであまり釣果



「菊池渓谷」撮影：高木幸一郎(菊南病院理学療法士)

は期待していませんでした。

釣り始めてみると結構当たりがあり、かなり上流まで釣り上りました。途中の滝壺で岩の上から竿を出して釣っていたところ岩が濡れており滑って水の中に落ちてしまいました。胸まである釣り用の長靴(ウェーダー: 俗称バカ長)を履いていたので、

その中に水が入ると非常に危険です。一旦水中に沈んで浮かび上がったところで全力を振り絞って泳ぎ近くの岩にしがみついて何とか這い上がりましたが全身ずぶ濡れになりました。寒くはなかったのですがそのまま釣り続けました。

そろそろ帰ろうかと思ったときは既に暗くなっていました。対岸の川沿いの道を歩けば楽に帰れると思い渡ってみると、前年の台風による倒木で完全に塞がっていました。真っ暗な中を道があったはずの所を強引に進んでいくとその内に全く位置も方向も分からなくなりました。水も食料もライトも着替えもなく朝までその場に留まるのは危険と判断し救急隊を呼ぶことにしました。幸運にも電話が繋がり、深夜の渓谷に救急車が3台出動しました。

渓谷沿いの道と思っていた所は急な崖の途中で、レスキュー隊がロープを張ってくれて安全な場所まで下してもらいました。一息ついたところで隊員の一人に『赤星先生じゃありませんか?』と声を掛けられました。再春荘病院で定期的に救急症例検討会を開いており顔を覚えていたのです。驚くと同時に恥ずかしい思いでした。

救出された後菊池警察署で事情聴取を受け未明に帰宅しました。昼間行ってみたら遭難するのが不思議な位の場所ですが、後から振り返ると原因は明白で油断と軽視の一言です。その後はGPS付きの携帯電話に変え、予定の行動を終えたら必ず妻に報告することにしました。

うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。 ～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム

2019年 お花見

3月29日、錦ヶ丘公園でお花見をしました。
ご利用者・ご家族・職員と総勢 50 人。桜も見ごろ！
天気にも恵まれ公園を散歩したり、カラオケをしたりと
皆様の笑顔も満開でした。



お花見弁当



グループホーム きくなん だより



今年の花見は各利用者様のゆかりの地へ（至：田原坂公園）



お花見料理作り
<ちらし寿司、白和え、
芋天、桜餅も作りました♪>



書道ガールズ♡
新元号「令和」
上手に書けました！

◆外来担当医当番表◆

●急患の方以外全て予約制です

令和元年5月～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
	9:00)	2診	古庄	堀	古庄	加古	堀(第1.3) 中島(第2.4)鈴木(第5)
	12:00	3診	うねだ 采田	整形外科 前田	鈴木	南	じょうだい 城墓 前田(第1.3.5) 南(第2.4)
午後	1診	—	—	室原	室原	堀	
	13:00)	2診	中島	鈴木	うねだ 采田	鈴木	禁煙外来 古庄 休診
	17:00	3診	南	南	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	禁煙外来 赤星

○受付時間：月～金（午前）8:30～11:30まで（午後）12:30～16:30まで
土（午前のみ）8:30～11:30まで

○休診日：日曜・祝日・年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

一診療情報一

じょうだい
城墓

呼吸器 ※要予約

守屋

神経内科 ※隔週（事前にご確認下さい）

禁煙外来

毎週金曜日の午後 ※要予約

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

令和元年5月現在

室原内科・小児科

	月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二	休診	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr)
		☆動脈硬化検査 (第1・第3)	高血圧外来 (梅田Dr)		腹部エコー検査 (第4)	腹部エコー検査 (第2)
午後	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二 梅田Dr	室原亥十二	休診	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)
		☆動脈硬化検査 (第1・第3)	喘息外来 (宮崎Dr)			

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日（木曜日を除く） 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

編集後記

編集長 室原 鈴子

前号のふれあい九十五号新春号は、九十歳寸前にして思いがけなく「前腕有棘細胞癌」の宣告に入院し、文学部出身の編集員に代筆をしてもらいましたが、名文の記事には感動しきりでした。九十六号春号は、九十歳のドン・ロウの執筆です。

この年になるまで健康のみが「手取り」の私は、昨年十一月に受診した時、Drが左手首をみて「これははれつきとした癌です」との一声に頭は真っ白。即座に手術が決まり、諸検査の連日……その上、持病の糖尿があり、血糖のコントロールのため入院したりと、年末年始も、すべての大事な用事もキャンセル。二月五日の入院・手術に向け、生活のスタイルも変わり、病魔との戦いがはじまりました。ポジティブ志向のネアカの私も、暫くは頭が重い日が続いたのです。手術の日は、生まれて初めて無機質な手術室の扉をくぐり、まさに組上の鯉と化しました。怒涛の日々に何よりの支えになったのは、入院・手術にもずっと嫁が長時間付き添い、献身的に見守ってくれたこと。優しいスマイルで私を送り出してくれたことが、何ものにも代えがたい勇気を与えてくれて随分救われました。

手術の結果、想定外に軽く、予定より早く退院ができました。「奇蹟だ」「オーマイゴッド！」と子どもも束の間、帰宅後に快気祝いの間もなく、しかし膝に激痛が走り「変形性膝関節症」に悩まされること今日でやがて三カ月。まだ車椅子生活が続いています。冒頭から私のグチばかりで大変ご無礼しました。年号も平成から令和に変わり、まず目に飛び込んだ、年男堀Drの貴重な名文、感心して拝見しました。また、室原内科・小児科に二十三年もの長い間ご尽力くださった藤井Drには、心より厚く御礼申し上げます。後任の宮崎Dr、これからどうぞよろしくお願ひ致します。平成三十一年菊南病院入社式・新人研修、令和の新しい年号に向け、ますますのご発展を祈ります。

大正・昭和・平成をして令和と生き続けた会長は年男。九十六歳を迎えました。体調は相変わらず不調ながら、継続は力なりで面白い記事になっています。古庄Dr、赤星Drの連載には、毎回感嘆しきりです。未知との遭遇にドキメキを感じます。

五月四日、新天皇陛下の即位も終わり、新時代の『令和』に、すばらしい未来の息吹が春風と共に訪れて欲しいものです。そして、私ども一人一人がマインドセットして、人間のたしなみも考えていかねばと、痛切に思っています。